

事業所名

児童発達支援みんな(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和7年

1月

17日

法人(事業所)理念		「コミュニケーション」、「自己肯定感」、「保護者支援」を大切に、お子様の全人的な発達、成長を目指します。									
支援方針		「児童発達支援みんな」では、たくさんのやりとりを通して相手に伝える力を伸ばします。また、お子様に合った教材を通して楽しく相手と関わる力を身につけます。保護者様へも、特性のあるお子様への関わり方、コミュニケーションの取り方、視覚補助の作り方など、お子様のコミュニケーション力を伸ばすためのアドバイスを行います。ご希望の方にはペアレント・トレーニングも行います。たくさん褒められ、認められること、達成感を得ることで、お子様の自己肯定感を高めます。「こうなりたい!」を引き出し、職員も一緒に走る伴走者となって、目的に向けた支援を行います。									
営業時間		(平日) (土曜・長期休)	10時 9時	00分 30分	17時 17時	30分 00分	分まで 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※送迎区域は要相談
支援内容											
本人支援	健康・生活	心身の健康状態の把握(検温・体調観察)、生活動作支援(基本的な生活スキルの獲得、整理整頓支援)、わかりやすい時間・空間の構造化、挨拶、身だしなみ、片づけや時間管理、場面・場面によって適切な判断と対応ができるよう、発達段階と年齢に応じた指導を行います。									
	運動・感覚	姿勢と運動、動作の向上を目的とした運動(サーキット、体幹トレーニング、トランポリン)や、身体移動の能力の向上を目指す運動(縄跳び、ドッジボール等)、広いプレイルーム「あそびば」で行います。体幹を意識した負担のない楽しい身体向上トレーニングを通して、発達を手助けします。									
	認知・行動	学校の課題や宿題の支援はもちろん、お子様の得意・不得意に合わせた個別の学習支援も行います。感覚や認知を活用する遊び(パズル、五感・バランスを使った遊び等)、ビジョントレーニング、時間の概念の形成(スケジュールボードの提示)等。									
	言語 コミュニケーション	発達段階に応じた言葉を増やし、自分の言葉で発言し表現すると同時に他人の言葉や感情を受け止める、理解する、対応するという段階を楽しく学んでいきます。絵本の読み聞かせ、語想起の向上、事物名称・語彙を増やす、気持ち・感情の代弁、身振り・指差し・サイン・絵カード等の活用、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得、テーマトーク等。人工内耳、補聴器を装着している場合は、聴力等に合わせた発音練習や聞き取りの練習を行います。									
	人間関係 社会性	集団活動やレクリエーションを通して、人との距離の取り方を学び、ひとりでは得られない大きな達成感を体験。いずれ地域と繋がるための支援を行います。アタッチメントの形成(適切なスキンシップ、やりとり遊び、おままごと)、場面カード、アナログゲーム、一人遊びから協同遊びへの支援、自己理解とコントロールの支援。									
家族支援		日常支援時のお子様の様子の情報共有、活動の報告、ペアトレ。兄弟姉妹への相談支援も行います。				移行支援		将来的な移行を見据えた目標や支援内容の設定。移行先選択の相談援助や情報提供。併用する事業所や学校との情報共有や支援のすり合わせもを行います。			
地域支援・地域連携		併用している事業所や学校との情報共有を行います。相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との支援の連携、医療機関、防災を含めた地域住民や関係機関との連携を図ります。				職員の質の向上		毎月社内研修の実施。県の専門研修、課題別研修への派遣。事業所の運営に関わる資格取得研修への派遣。			
主な行事等		季節に合わせたイベントの実施(夏祭り、ハロウィン等)									